

## 南極周辺海域における地殻熱流量データのコンパイルについて

## Compiling of geothermal (Heat Flow) data (for these decades) around the Antarctica

# 上嶋 正人[1], 佐木 和夫[2], 長尾 年恭[3]

# Masato Joshima[1], takao saki[2], Toshiyasu Nagao[3]

[1] 地調・海洋・海洋物探, [2] 石油公団, [3] 東海大・予知研究センター

[1] Marine Geophys. Sect., Marine Geol. Dept., GSJ, [2] JNOC, [3] Earthquake Prediction Res. Center, Tokai Univ.

石油公団による南極大陸周辺海域の調査は1980年のベーリングスハウゼン海を始めとして毎年海域を変えながら続けられて来たが、従来使用してきた地質調査船「白嶺丸」の2000年3月末での引退により、平成12年度は調査が行なわれず現在中断の形になっている。今後数年間は20年分のデータの取りまとめを行う予定になっている。

地殻熱流量データは毎年、暫定値しか報告されておらず、最終的なコンパイルのためにはデータの再処理、再解析が必要である。毎年数点の地殻熱流量データが得られて、20年間で124点の測定が行なわれている。

石油公団による南極大陸周辺海域の調査は1980年のベーリングスハウゼン海を始めとして毎年海域を変えながら続けられて来たが、従来使用してきた地質調査船「白嶺丸」の2000年3月末での引退により、平成12年度は調査が行なわれず現在中断の形になっている。今後数年間は20年分のデータの取りまとめ、地震探査データの再処理、再解析、諸試料の追加分析などを行う予定になっている。

調査内容は主として地質、地球物理データの取得であり、調査項目はマルチチャンネル反射法地震探査、海底地震計を用いた屈折法地震探査、重力探査、磁力探査、ドレッジ、コアリングによる岩石、堆積物の採取、分析およびコアリング時に同時並行的に行なわれる地殻熱流量値測定等である。

これらのデータのうち地殻熱流量データだけは毎年、暫定値しか報告されておらず、最終的なコンパイルのためにはデータの再処理、再解析が必要である。表1に20年分の地殻熱流量データの蓄積状況とデータの質を検討するための温度データ等経過データの有無(収集状況)を示す。毎年数点の柱状採泥点があり、たまに測定不能の点があるためにその一部で地殻熱流量データが得られているが、20年間で124点の測定が行なわれている。

表1 南極周辺地殻熱流量測定点数

TH80(7)	ベーリングスハウゼン海	報に暫定値のみ有	チェック済
TH81(5)	ウェッデル海	報に暫定値のみ有	チェック済
TH82(9)	ロス海	報に暫定値のみ有	チェック済
ク済図有			
TH83(9)	ウイルクスランド沖	報に暫定値のみ有	チェック済
TH84(8)	エンダビーランド沖	報に暫定値のみ有	チェック済
TH85(7)	クイーンモードランド沖	報に暫定値のみ有	チェック済
TH86(8)	アムンゼン海	報に温度データ有	チェック済
TH87(6)	南オークニー諸島	報に温度データ有	チェック済
TH88(8)	ブランスフィールド海峡	報に暫定値のみ有	チェック済
TH89(5)	エンダビーランド沖	報に暫定値のみ有	チェック済
TH90(6)	スコット海盆	報に暫定値のみ有	数値データ無
TH91(1)	ロス海盆	報に暫定値のみ有	数値
データ無			
TH92(7)	ロス海東部海盆	報に暫定値のみ有	紙数値データ有
TH93(6)	スコット海盆東部	報に暫定値のみ有	数値データ有
TH94(7)	スコット海盆西部	報に経過データ有	数値データ有
TH95(4)	ロス海ビクトリアランド海盆	報に経過データ有	数値データ有
TH96(3)	ブランスフィールド海盆	報に経過データ有	数値データ有
TH97(5)	南オークニー諸島周辺	報に経過データ有	数値データ有
TH98(6)	デービス海	報に経過データ有	数値データ有
TH99(7)	エンダビーランド沖東部	報に経過データ有	数値データ有

(航海名に続く括弧内の数字は地殻熱流量の測定点数を示す)